

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
大	事業	051	企画事業	中	事業	01	企画	事務	事業
小	事業								他 事業

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	1	住民とともに育むまちづくり	所管部局	総合政策部
	基本計画	1-2	効率的な行財政運営の推進		企画情報課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		坂井市寄附市民参画条例等		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

**【事業の目的】**  
 庁内の横断的な企画調整やコミュニティ助成事業による地域コミュニティ活動の充実等を図る。

**【事業の概要】**

◆企画事務事業	本庁	5,925 千円
○賃金	臨時職員賃金 1名	1,376 千円
○需用費	消耗品費（事務用品）	5 千円
○負担金		244 千円
	ドラゴンリバー交流会会費	30 千円
	発電関係市町村全国協議会負担金	18 千円
	クルマに頼りすぎない社会づくり県民会議負担金	96 千円
○補助金	コミュニティ助成事業費補助金 2件 （上真砂区、坂井木部地区まちづくり協議会）	4,300 千円
◆総合計画策定事業		3,980 千円
○報酬	委員報酬 1名	184 千円
○需用費	食糧費（会議用膳）	16 千円
○委託料	総合計画策定業務委託料	3,780 千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

（単位：千円）

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比	
コスト	事業費	8,529	11,499	6,771	△ 2,970
	人件費	3,810	6,657	3,357	△ 2,846
	総事業費	12,339	18,156	10,128	△ 5,816
人員	正職員	0.57 人	0.95 人	0.50 人	△ 0.38 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.57 人	0.95 人	0.50 人	△ 0.38 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	4,300	3,815	4,640	485
	一般財源	8,039	14,341	5,488	△ 6,301

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	独自指標	コミュニティ助成事業採択件数	目標	2	2	2	2	2
			実績		2	2	2	3
			達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	150.0
指標の説明		宝くじを財源とした自治総合センター補助金の採択数						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価		補助率10/10のコミュニティ助成制度を有効に活用しながら、地域コミュニティの充実を目指した結果、目標通りの採択を受け十分な事業効果があったと考えます。また、公共交通基盤の強化と観光振興の双方から活性化を図る庁内横断的プロジェクトの丸岡バスターミナル周辺整備計画について、市民団体を巻き込みながら着手することができました。						

5.事業に対する評価

現状と課題	妥当性に課題 コミュニティ助成制度については、自発的に興味を持った団体の問い合わせに対し制度を紹介する手続きとなっており、きめ細やかな周知を全市的に行っているとは言い難く、さらに有効活用するためには、広く制度認知を行い団体間競争をいただくことがよい一面もあります。一方で、申請が現状以上に多くなった場合には、申請内容の精査が現状の事務体制では困難なことが考えられます。
これまでの見直しや改善等の実績	周知方法については、広報や新年の地区区長会説明会の活用等も研究してきたが、事務体制等を勘案し見送っている状況です。

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性	継続	方向性の理由	コミュニティ助成については、10/10の財源を確保しながら地域コミュニティの活性化が図られ、行財政改革の視点からも、さらに積極的な採択に向けた申請支援を実施していきます。
目標年度			
中長期的な方向性			
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	施策
	施策項目	
実施事業名 (小事業)		
事業で得られたノウハウや気づき等		

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
大	事業	051	企画事業	中	事業	04	寄付市民参画事業		
小	事業								他 事業

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	1	住民とともに育むまちづくり	所管部局	総合政策部
	基本計画	1-2	効率的な行財政運営の推進		企画情報課
総合戦略	政策パッケージ	1	移住・定住の促進		
	施策	1-1	シティーセールスの強化		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		坂井市寄附市民参画条例等		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】  
市民提案の事業をスピード感を持って実現し、協働のまちづくりを推進するため、返礼品を活用しながら寄附市民参画制度の充実を図る。

【事業の概要】

○賃金	臨時職員賃金 1名	798 千円
○報償費		163,612 千円
	講師謝礼	130 千円
	委員謝礼	21 千円
	返礼品	163,461 千円
○旅費	特別旅費	419 千円
○需用費		2,222 千円
	消耗品費（啓発用消耗品）	63 千円
	印刷製本費（パンフレット・封筒等）	2,159 千円
○役務費		65,470 千円
	郵便料	2,335 千円
	運搬料	27,737 千円
	窓口収納手数料	35,398 千円
○委託料		2,825 千円
	システム委託料	259 千円
	イベント委託料	420 千円
	寄附使途報告書発送業務委託料	1,798 千円
	写真撮影業務委託料	348 千円
○備品購入費	事務用備品	28 千円
○負担金	ふるさと納税の健全な発展を目指す自治体連合負担金	30 千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	<p>■寄附市民参画(坂井市版ふるさと納税)リメイク(寄附額に応じて、市をPRする返礼品の導入)</p>
----------	--

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コスト	事業費	234,606	136,654		97,952
	人件費	11,934	8,759		3,176
	総事業費	246,540	145,413	0	101,128
人員	正職員	1.25 人	1.25 人		0.00 人
	臨時職員	2.00 人	0.00 人		2.00 人
	人員計	3.25 人	1.25 人	0.00 人	2.00 人
財源内訳	国県支出金	0	0		0
	その他特定財源	235,404	136,654		98,750
	一般財源	11,136	8,759	0	2,378

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	寄附市民参画制度寄附額	千円	目標	950,000	500,000	100,000	5,000	5,000
			実績		552,985	450,847	7,414	2,974
			達成率(%)	0.0	110.6	450.8	148.3	59.5
指標	指標の説明							
独自指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
独自指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
独自指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標に基づく評価	寄附額の年間目標額5億円を大幅に超えるとともに、順調に寄附市民参画事業を実施できた。							

5.事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題		
	平成30年度寄附金は5億5千万円と前年度より1億円増加し、順調に伸びてはいるが、さらに寄附額を伸ばす余地があるため様々な手法を検討する必要があります。		
これまでの見直しや改善等の実績	返礼事業者対象の研修を実施し、事業者のスキルアップを図り1億円の増額に繋がりました。		

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	寄附市民参画事業	継続	寄附市民参画事業推進に係る経費

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性	拡充	方向性の理由	貴重な財源として、寄附額の増額を目指すとともに寄附事業を着実に実施できるよう職員の意識改革や政策立案能力の向上に努めます。
目標年度 令和2年度			
中長期的な方向性	拡充		
目標年度 令和6年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
	施策項目					
実施事業名 (小事業)						
事業で得られたノウハウや気づき等						

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費	
大事業	051	企画事業				中事業	07	三国湊地区活性化事業		
小事業								他 事業		

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	総合政策部
	基本計画	3-7	定住・交流の促進		企画情報課
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化		
	施策	4-4	観光の振興		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		坂井市三国湊町家活用プロジェクト事業費補助金交付要綱		
関連計画・マニュアル	有		三国湊町家再生ビジョン計画、三国まちづくりビジョン		

2.事業の目的・概要

【事業の目的】	
空き家利活用事業や街なみ保存事業等を通して、賑わい創出や歴史・文化の保存伝承を図り、三国湊地区の活性化を推進する。	
【事業の概要】	
◆三国湊賑わい創出事業	72,502 千円
○賃金 臨時職員賃金 3名	599 千円
○報償費 委員等報酬	145 千円
○旅費 特別旅費	57 千円
○需用費 光熱水費（電気料・上下水道料）	319 千円
○役務費	136 千円
○委託料	5,610 千円
○賃借料 土地借上料	600 千円
○工事請負費	64,860 千円
建物改修工事費（旧大木道具店）	64,844 千円
インターネット導入工事費	16 千円
○備品購入費 施設用備品購入費	176 千円
◆地域おこし協力隊事業	3,753 千円
○委託料 地域おこし協力隊受入業務委託料	3,753 千円
◆交流拠点施設整備事業	9,500 千円
○補助金 ふるさと茶屋整備事業費補助金	9,500 千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	<p>■三国湊町の賑わい創出 (特徴的な古民家をリノベーションする起業者を全国から募り三国湊町の賑わいを創出する)</p> <p>■空き家改修モデル事業の内覧会 (空き家の利活用を促進するため、空き家改修のモデル事例の内覧会やビジュアル資料を作成し、空き家に対するイメージの向上に活用する)</p>
----------	---

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コスト	事業費	85,156	6,044	700	79,112
	人件費	4,011	3,504	6,713	508
	総事業費	89,167	9,548	7,413	79,620
人員	正職員	0.60 人	0.50 人	1.00 人	0.10 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.60 人	0.50 人	1.00 人	0.10 人
財源内訳	国県支出金	42,635	1,830	0	40,805
	その他特定財源	416	0	0	416
	一般財源	46,116	7,718	7,413	38,399

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	旧大木道具店を活用し事業する者数	人	目標	1	1	1	1	
			実績		1	1	0	
			達成率(%)	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標	旧大木道具店入込客数	人	目標	6,000				
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明		空き家改修による経済効果をはかる評価指標						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	平成28年度に決定した活用事業者へ支援し旧大木道具店を改装し賑わいを創出していく予定であったが、事業者の辞退により事業スキームを見直すこととなったため、市が事業主体となることとし、平成29年度で活ユーザー募集、平成30年度改修工事を実施するスキームとしたため、評価できない現状である。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績			

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	三国湊賑わい創出事業	継続	民間ベースでの古民家・空き家改修を推進して行く。
	三国湊地区活性化施設管理運営事業	拡充	地区内の公共施設を包括した指定管理者の導入を目指すことにより、効率化を図る。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性	継続	方向性の理由	地区内の公共施設を包括した指定管理者の導入を目指すことにより、効率化を図っていきます。
目標年度 令和2年度			
中長期的な方向性	改善（見直し）		
目標年度 令和6年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	5	都市基盤整備	施策	5-1	市街地・住環境の整備
	施策項目	(4) 空き家の利活用に関する情報の周知（アーバンデザインセンターの設立）				
実施事業名 (小事業)	三国湊賑わい創出事業					
事業で得られたノウハウや気づき等						

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
大事業	051	企画事業			中事業	08	竹田地区活性化事業		
小事業	01	交流拠点施設整備事業			02	緑のふるさと協力隊事業		他1事業	

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり		所管部局	総合政策部
	基本計画	3-7	定住・交流の促進			企画情報課
総合戦略	政策パッケージ	1	移住・定住の促進			
	施策	1-3	I Jターンの促進			
事業区分	自治事務 (任意的なもの)		事業種別	ソフト事業		
根拠法令	無					
根拠例規	有		坂井市ふるさと茶屋整備支援事業費補助金交付要綱			
関連計画・マニュアル	有		竹田の里将来ビジョン、竹田地区空き家活用プラン			

2.事業の目的・概要

**【事業の目的】**  
木に親しむ環境教育を推進するため寄附市民参画基金を活用し、ちくちくぼんぼん内に木育ルームを整備する事業に対し支援する。また、協力隊を活用した農山村交流事業等を通して、地域振興や賑わい創出を図り、竹田地区の活性化を推進する。

**【事業の概要】**

- ◆緑のふるさと協力隊事業 50 千円
  - 負担金 地球緑化センター負担金 50 千円
- ◆地域おこし協力隊事業 3,066 千円
  - 賃金 2,818 千円
    - 地域おこし協力隊 1名 1,918 千円
    - 集落支援員 1名 900 千円
  - 旅費 特別旅費 38 千円
  - 需用費 作業用消耗品費 36 千円
  - 役務費 火災保険料 6 千円
  - 賃借料 隊員宿舍賃借料 120 千円
  - 負担金 協力隊活動費負担金 48 千円
- ◆環境の森保全事業 8,552 千円
  - 補助金 環境の森保全事業補助金 8,552 千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	移住希望者や検討者への情報提供、プロモーション ■地域おこし協力隊、緑のふるさと協力隊
----------	--

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コスト	事業費	11,668	18,796	1,495	△ 7,128
	人件費	4,011	6,306	4,699	△ 2,295
	総事業費	15,679	25,102	6,194	△ 9,423
人員	正職員	0.60 人	0.90 人	0.70 人	△ 0.30 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.60 人	0.90 人	0.70 人	△ 0.30 人
財源内訳	国県支出金	0	9,305	996	△ 9,305
	その他特定財源	8,678	126	0	8,552
	一般財源	7,001	15,671	5,198	△ 8,670

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	地域おこし協力隊等経験者定住者数 (トータル)	人	目標	5	5	4	3	3
			実績		5	4	3	3
			達成率 (%)	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
指標の説明								
指標	地域おこし協力隊等従事者数 (単年度)	人	目標	3	3	3	3	2
			実績		3	3	3	2
			達成率 (%)	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
指標の説明								
KPI	地域おこし協力隊の受け入れ数 (トータル)	人	目標	5	4	3	2	1
			実績		6	5	3	1
			達成率 (%)	0.0	150.0	166.7	150.0	100.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	地域おこし協力隊等の内、任務終了後も竹田に定住する者がでてきていることから、今後も期待するとともに、他へ移住したとしても、年数回友達や家族を連れて帰ってくるなど、今後さらに関係人口の増加が期待できる状況であり、事業効果を十分評価しています。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
	緑のふるさと協力隊は、地域に大きく貢献しています。		
これまでの見直しや改善等の実績			

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	緑のふるさと協力隊	継続	緑のふるさと協力隊は、地域に大きく貢献しているため今後も継続していく。
	環境の森保全事業	廃止	寄附市民参画事業メニューであるため

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性	縮小	方向性の理由	環境の森保全事業は、事業完了とともに廃止することから、令和2年度においては縮小となります。
目標年度 令和2年度			
中長期的な方向性	継続		
目標年度 令和6年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ		施策	
	施策項目			
実施事業名 (小事業)				
事業で得られたノウハウや気づき等				



平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
大	事業	051	企画事業	中	事業	09	丸岡地区活性化事業		
小	事業	01	丸岡バスターミナル推進事業					他 事業	

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	総合政策部
	基本計画	3-7	定住・交流の促進		企画情報課
総合戦略	政策パッケージ	5	都市基盤整備		
	施策	5-2	交通基盤の充実		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ハード事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

**【事業の目的】**  
丸岡バスターミナルに、周辺住民の憩いの場や新たな人を呼び込みながら丸岡城への人の流れを生み出す施設を整備することにより賑わいを創出する。また、城周辺の空き家を改修し、市民と関係人口が交流できる拠点を整備する。

**【事業の概要】**

◆丸岡バスターミナル周辺整備事業	118,232 千円
○手数料	49 千円
申請手数料	37 千円
検査手数料	12 千円
○委託料（設計監理委託料）	2,052 千円
○工事請負費	115,760 千円
建物解体工事費	10,260 千円
建物新設工事費	52,885 千円
外構新設工事費	52,615 千円
○補償金 工作物移転補償費	371 千円
◆交流拠点施設整備事業	5,000 千円
○補助金（ふるさと茶屋整備事業費補助金）	5,000 千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	<p>■丸岡バスターミナルの整備 (老朽化が進んでいるバスターミナルの利便性と周辺施設との連携性を高める整備を行い、賑わい創出を図る)</p>
----------	---

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コスト	事業費	123,232	16,026		107,206
	人件費	4,011	4,905		△ 894
	総事業費	127,243	20,931	0	106,312
人員	正職員	0.60 人	0.70 人		△ 0.10 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人		0.00 人
	人員計	0.60 人	0.70 人	0.00 人	△ 0.10 人
財源内訳	国県支出金	3,333	0		3,333
	その他特定財源	86,700	0		86,700
	一般財源	37,210	20,931	0	16,279

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	丸岡バスターミナル入込客数	人	目標	56,000	56,000	56,000		
			実績		46,355	56,210		
			達成率(%)	0.0	82.8	100.4	0.0	0.0
指標	指標の説明 施設整備の経済効果を図るための評価指標							
指標	市民ワークショップ参加者のべ人数	人	目標			30		
			実績			33		
			達成率(%)	0.0	0.0	110.0	0.0	0.0
指標	指標の説明 市民意見の反映を図るための評価指標							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標に基づく評価	評価指標に成果が表れるのは、施設完成後の令和2年度以降であり、平成30年度は工事期間中である。							

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題 令和3年度に指定管理者制度を導入できるよう検討します。
これまでの見直しや改善等の実績	

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容	
丸岡バスターミナル施設管理運営事業	継続	指定管理者制度を導入し、効率の良い施設運営と様々な自主事業による賑わい創出を図る。	
丸岡地区賑わい創出事業	継続	賑わいを創出するため空き家リノベーションによる新規起業者への支援を推進する。	

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性	改善（見直し）	方向性の理由	令和3年4月から指定管理者制度を導入できるよう検討を行います。
目標年度 令和2年度			
中長期的な方向性	継続		
目標年度 令和6年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
	施策項目					
実施事業名（小事業）						
事業で得られたノウハウや気づき等						

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
大事業	051	企画事業			中事業	16	サイン整備事業		
小事業							他 事業		

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	1	住民とともに育むまちづくり		所管部局	総合政策部
	基本計画	1-2	効率的な行財政運営の推進			企画情報課
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化			
	施策	4-4	観光の振興			
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ハード事業		
根拠法令	無					
根拠例規	無					
関連計画・マニュアル	有		坂井市サイン実施計画			

2.事業の目的・概要

**【事業の目的】**  
 坂井市サイン整備計画に基づき、デザインを統一することで、市としての一体感を高めるとともに既存サインの利活用を図りながら効果的で美しい景観を創出するサイン整備を行う。

**【事業の概要】**

○使用料	ソフトウェア使用料	108 千円
○工事請負費	サイン更新工事費	21,568 千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	<p>【外国人観光客の誘致客】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>増加する外国人観光客の受け入れ体制を整えるため、分かりやすい観光案内とサイン看板の多言語化標記、利用しやすい宿泊予約システムやICTを活用してエリア内観光情報を容易に取得できるシステムの構築などの環境づくりに取り組みます。</li> </ul>
----------	---

3.事業のコスト

(単位：千円)

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比	
コスト	事業費	21,676	23,593	24,681	△ 1,917
	人件費	468	1,752	1,678	△ 1,284
	総事業費	22,144	25,345	26,359	△ 3,201
人員	正職員	0.07 人	0.25 人	0.25 人	△ 0.18 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.07 人	0.25 人	0.25 人	△ 0.18 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	20,000	0	0	20,000
	一般財源	2,144	25,345	26,359	△ 23,201

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	サイン計画に基づく進捗率	%	目標	41	34	30	26	7
			実績		70	44	29	10
			達成率(%)	0.0	204.4	146.7	111.5	142.9
指標	指標の説明							
	平成26に策定したサイン計画の進捗率							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標に基づく評価	サイン計画に基づき、案内看板等の新設や老朽化したサインの撤去など順調に整備してきています。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績			

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	サイン整備事業	縮小	令和2年度を持って事業を完了する予定。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性	縮小	方向性の理由	坂井市サイン実施計画に沿ったサイン整備は、令和2年度をもって完了します。
目標年度 令和2年度			
中長期的な方向性			
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ		施策	
	施策項目			
実施事業名 (小事業)				
事業で得られたノウハウや気づき等				

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
大事業	051	企画事業			中事業	01	地方創生推進事業 ①		
小事業	01	地方創生推進事務事業			01	竹田Tキャンプ推進事業		他5事業	

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	総合政策部
	基本計画	3-7	定住・交流の促進		企画情報課
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化		
	施策	4-4	観光の振興		
事業区分	自治事務 (任意的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

**【事業の目的】**  
 急激な少子高齢化の進展に的確に対応し、人口減少による様々な課題に取り組むため、坂井市が自主性・主体性を発揮しながら「坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を実施していく。

**【事業の概要】**

◆地方創生推進事務事業	68 千円	
○報償費		55 千円
○旅費		12 千円
○需用費		1 千円
◆竹田Tキャンプ推進事業	4,952 千円	
○需用費		196 千円
○役務費		80 千円
○委託料		2,360 千円
○使用料及び賃借料		120 千円
○補助金		2,196 千円
◆特別区全国連携プロジェクト	313 千円	
○旅費		185 千円
○需用費		10 千円
○役務費		38 千円
○使用料及び賃借料		80 千円
◆高校生未来塾事業	672 千円	
○負担金		672 千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>■自然体験を通じた教育プログラム (県内外の大学生を対象に竹田を舞台に自然教育を学ぶ)</li> <li>■全国自治体連携プロジェクト (特別区全国連携プロジェクト等の自治体連携を活用した全国各地での情報発信の最大化を図る)</li> </ul>
----------	--

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コスト	事業費	12,061	60,179	6,823	△ 48,118
	人件費	10,028	10,861	6,042	△ 833
	総事業費	22,089	71,040	12,865	△ 48,951
人員	正職員	1.50 人	1.55 人	0.90 人	△ 0.05 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	1.50 人	1.55 人	0.90 人	△ 0.05 人
財源内訳	国県支出金	2,524	27,630	2,770	△ 25,106
	その他特定財源	520	23,300	0	△ 22,780
	一般財源	19,045	20,110	10,095	△ 1,065

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	Tキャンプによる関係人口増加数	人	目標	40	30	20	20	
			実績		64	32	12	
			達成率(%)	0.0	213.3	160.0	60.0	0.0
指標の説明		坂井市へ経済還流を生む新たな人口としての指標						
指標	しながわ夢さん橋参加による売り上げ高	千円	目標	200	200	200	200	
			実績		574	628	637	
			達成率(%)	0.0	287.0	314.0	318.5	0.0
指標の説明		販路拡大の実績を図る指標						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	Tキャンプについては、年々参加者が増加するとともに、地域への事業の認知度が上がり学生と地域の密度の濃い関係性が構築できる土壌ができてきており、さらなる関係人口の増加が期待できます。しながわ夢さん橋については、当日の売り上げが安定して推移しており、参加する事業者とともに特産品等の都市圏への販路拡大にある程度繋がっていると評価できます							

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題		
	Tキャンプについては、地域の認知度があがってきている一方で、学生をマンパワーとして求める方がおり、学生の思いと地域にギャップが生じています。市としては、学生は、マンパワーではなく、様々なワークショップや自主事業、自己研磨により竹田地区への愛着を持ち将来にわたって関係人口となっていくことを期待しており、地域へのさらなる理解促進が必要です。しながわ夢さん橋については、女性起業家等のアサクセサリーがイベントに馴染まず、必ずしも販路拡大に繋がりにくいものがあり、対象の検討を要します。		
これまでの見直しや改善等の実績	Tキャンプについては、平成29年度は「考える」をテーマとし、幅広い分野の大学にアプローチしていくことを継続したことで、参加者が大幅に増加した。また、ガバメントクラウドファンディングを活用し新たな活動費用の獲得を行った。しながわ夢さん橋については、坂井市ふるさとの納税のPRと返礼品提供事業者を販路拡大を目的としてし事業に参加しました。		

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	竹田Tキャンプ推進事業	継続	年々参加者も増加しており、今後も地区に大きな効果が期待できる。
	地域おこし協力隊事業	継続	Tキャンプのコーディネーター業務を行っているため継続する
	特別区全国連携プロジェクト	継続	9月5日に連携協定を締結し、今後は共同事業を実施していく。
	住みます芸人活用事業	継続	「お笑い」をとおした様々な活動が市民に定着してきており、今後も継続していく。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		方向性の理由	Tキャンプは、事業継続により当面は関係人口のさらなる増加を期待するとともに、将来的には竹田地区に魅力を感じる学生の移住を期待しており継続していきます。 特別区全国連携事業については、しながわ夢さん橋への参加を継続し事業者の販路拡大を期待するとともに、さらに品川区との連携を強化し、首都圏における坂井市の認知度を押し上げる施策を実施していきます。
目標年度			
中長期的な方向性			
目標年度	令和5年度	継続	

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化	施策	4-4	観光の振興
	施策項目	(8)都市と地方の交流,(9)体験型観光プログラムの充実				
実施事業名 (小事業)	◆竹田Tキャンプ推進事業					
事業で得られたノウハウや気づき等	<p>◆竹田Tキャンプ推進事業</p> <p>①竹田に魅力を感じる学生ターゲットへの気づき 昨年度から、竹田での自然体験、アート創出等に興味を持つ者へターゲットを変更したところ大幅に参加者が増加した。4年目以降はさらに多角的にアプローチしていくことで学生参画増を期待する。</p> <p>②地域の思いとのギャップを埋めることへの気づき 学生は、自己研磨のために参画する者がほとんどである一方で、地域は地域課題を解決するマンパワーとして若者を求めるギャップが生じ、一部の地域住民からは、学生を怪しむ者や事業の存在意義に疑義を申す者が出た。したがって、地域住民を巻き込んだワークショップで対話を重ねることで、地域には学生の実直さや勤勉さを伝え、学生には竹田への愛着を醸成いただいた結果、双方良好な関係に向かう傾向である。</p> <p>③定住に繋げるための継続性への気づき この事業は10年以上継続していくことで、関係人口はもちろんのこと定住者を生むことも期待する事業であることを委託事業者とあらためて確認。そのためには、市の財源に頼り続けるのではなく、自走していける仕組みづくりが必要であることから、平成30年度は、学生が事業に賛同を得て寄附を集めるガバメントクラウドファンディングを実施し新規事業の財源とした。</p>					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
大事業	051	企画事業			中事業	02	地方創生推進事業 ②		
小事業	01	地方創生推進事務事業			01	竹田Tキャンプ推進事業		他5事業	

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり		所管部局	総合政策部
	基本計画	3-7	定住・交流の促進			企画情報課
総合戦略	政策パッケージ	1	移住・定住の促進			
	施策	1-2	Uターンの促進			
事業区分	自治事務 (任意的なもの)		事業種別	ソフト事業		
根拠法令						
根拠例規						
関連計画・マニュアル						

2.事業の目的・概要

◆地域おこし協力隊事業	1,403 千円	
○賃金		1,278 千円
○需用費		125 千円
◆住みます芸人活用事業	4,653 千円	
○旅費		51 千円
○需用費		46 千円
○役務費		48 千円
○委託料		4470 千円
○工事請負費		38 千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>■高校生未来塾 (市内高校の生徒に市の歴史文化や優れた住環境、子育て環境など、ふるさとの良さを映像化してもらい、将来のUターン意識の醸成を図る)</li> <li>■市内企業見学バスツアー事業 (学生とその親を対象とした市内中小企業等の見学バスツアー)</li> <li>■坂井市住みます芸人 (坂井市専属の「住みます芸人」による観光地の活性化や情報発信に取り組む)</li> </ul>
----------	---

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コスト	事業費	12,061	60,179	6,823	△ 48,118
	人件費	10,028	10,861	6,042	△ 833
	総事業費	22,089	71,040	12,865	△ 48,951
人員	正職員	1.50 人	1.55 人	0.90 人	△ 0.05 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	1.50 人	1.55 人	0.90 人	△ 0.05 人
財源内訳	国県支出金	2,524	27,630	2,770	△ 25,106
	その他特定財源	520	23,300	0	△ 22,780
	一般財源	19,045	20,110	10,095	△ 1,065

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標 KPI	高校生アンケート定住希望率	%	目標	50.0	50.0	45.0	40.0	
			実績		60	55.0	46.0	37
		達成率(%)	0.0	120.0	122.2	115.0	0.0	
指標の説明								
独自指標	企業見学ツアー参加者数	人	目標		100.0	100.0	100.0	
			実績		51.0	184.0	74.0	
		達成率(%)	0.0	51.0	184.0	74.0	0.0	
指標の説明								
独自指標	住みます芸人イベント参加数 (TV含む)	回	目標	200	150			
			実績		225			
		達成率(%)	0.0	150.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								
独自指標	住みます芸人イベント入込客数	人	目標	1,200	1,000			
			実績		570			
		達成率(%)	0.0	57.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								
指標に基づく評価	高校生未来塾事業では、高校生企業見学ツアー参加者は対前年から増え、定住希望率も上昇している一方で、因果関係ははっきりしていないため、施策効果がまだでていないと評価します。住みます芸人については、市専属のお笑い芸人を起用し、市の魅力を「笑い」を活用して発信しました。							

5.事業に対する評価

現状と課題	高校生への市内企業等の魅力を伝えるため、企業見学ツアーをはじめ、SNSを活用した事業を実施しているが、現時点では実施事業が学生の将来的定住への心象形成へ結びついていない状況である。
これまでの見直しや改善等の実績	高校生へのシビックプライドを醸成するとともに、将来的な人材確保の視点から民間と協働で行っていくことを想定し、市、高校、PTA、地域金融機関等の参画による「あわら坂井ふるさと創造推進協議会」を設立の準備をすすめた。結果的に準備委員会の事務局を市から金融機関に引き継ぎ、さらに民間からの会費を募り公的資金の抑制を図っていく予定。

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	高校生未来塾事業	継続	奨学金返還支援事業は好評であり今後も継続していく。
	移住就職支援事業	継続	奨学金返還支援事業は好評であり今後も継続していく。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性	方向性の理由
目標年度	
中長期的な方向性	
目標年度	

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	1	移住・定住の促進	施策	1-2	Uターンの促進
	施策項目	(1)青少年へのふるさと意識の醸成、(2)坂井市出身者への情報発信				
実施事業名 (小事業)	高校生未来塾事業（あわら坂井ふるさと創造推進協議会）					
事業で得られたノウハウや気づき等	<p>①高校生の就業意識の低さや時間的ゆとりのなさへの気づきとあらたなアプローチ          高校生は日常的部活や勉強に追われて時間にゆとりがないことに加え、就業に対する興味が想像以上に低いことがわかった。また、高校生の興味は多様化しており一つの手法だけでは多くの参加が得にくいと感じている。したがって、高校と連携し総合学習の時間を活用し企業見学ツアーや、ライフプランセミナーを実施したところ、十分な参加総数を得ることができた。アンケートの将来の定住希望に対する結果だけでは、就業意識や将来的な定住意識に大きな効果があったとは言い切れないと考えており、引き続き「あわら坂井ふるさと創造推進協議会」において様々な知見によりアプローチの手法を再考しながら取り組んでいく。</p> <p>②小規模な事業者の魅力発信方法とアプローチについて          あわら坂井ふるさと創造推進協議会では、自走した組織運営を目指して協賛企業を募っているが登録数が伸び悩んでいる。高校生に対する情報発信ツールが、現状では企業見学ツアーなど中規模以上の事業者の方が有利と思われるものが多いことが要因と考えており、今後のSNSの活用やアプリの開発によって、小規模の事業者がもつ魅力も効果的に発信できる工夫をしていきたいと考える。</p>					



平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
大	事	業	101	地域交通対策事業	中	事	業	16	地域交通対策事業
小	事	業	03	空港対策事業	04	鉄道交通対策事業	他 事業		

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	4	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり	所管部局	総合政策部
	基本計画	4-7	公共交通網の整備・充実		企画情報課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	有	坂井市公共交通計画、えちぜん鉄道交通圏地域公共交通網形成計画他			

2.事業の目的・概要

【事業の目的】  
地域交通機関に対する啓発活動や利用環境の整備により、利用促進及び利便性の向上を図る。

【事業の概要】

- ◆空港対策事業 本庁 13 千円
  - 負担金 13 千円
    - ・福井空港振興協議会負担金
- ◆鉄道交通対策事業 本庁 54,313 千円
  - 役務費 67 千円
    - ・通信運搬費（えちぜん鉄道普通回数券）
  - 負担金 2,634 千円
    - ・えちぜん鉄道高架負担金 2,534 千円
    - ・えちぜん鉄道活性化連携協議会負担金 100 千円
  - 補助金 51,612 千円
    - ・えちぜん鉄道維持支援事業補助金
- ◆鉄道交通対策事業 坂井 5,266 千円
  - 需用費 703 千円
  - 役務費 83 千円
  - 委託料 3,299 千円
    - JR丸岡駅機械警備保障委託料 175 千円
    - JR丸岡駅委託販売業務委託料 3,124 千円
  - 使用料及び賃借料 JR丸岡駅NHK放送受信料 15 千円
  - 工事請負費 トイレ改修工事費 1,166 千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コスト	事業費	59,592	78,951	72,335	△ 19,359
	人件費	2,340	3,223	3,088	△ 883
	総事業費	61,932	82,174	75,423	△ 20,242
人員	正職員	0.35 人	0.46 人	0.46 人	△ 0.11 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.35 人	0.46 人	0.46 人	△ 0.11 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	52,627	1,679	8,665	50,948
	一般財源	9,305	80,495	66,758	△ 71,190

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	えちぜん鉄道乗者数	人	目標	470,000	450,000	450,000	450,000	450,000
			実績		445,263	443,502	436,902	459,914
			達成率(%)	0.0	98.9	98.6	97.1	102.2
指標	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標に基づく評価			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標に基づく評価	北陸新幹線開業を踏まえ、乗車数増を見込んだ指標としたが、効果は、今はでていないと評価する							

5.事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題		
これまでの見直しや改善等の実績	えちぜん鉄道においては、北陸新幹線開業を踏まえた乗車人数増加効果がでているとは言い難く、サポーターズクラブと連携しながら積極的な魅力創出の取組が必要です。また、JRについては、並行在来線化に向け県等の動向に注視を要します。		
	えちぜん鉄道に対して沿線自治体の連携のもと、設備改修等老朽化対策に対する支援を行い地域の「生活関連社会資本」として維持するとともに利用客の利便性向上を図りました。また、JR丸岡駅内のトイレ改修を行い利便性の向上を図り利用者の満足度を高めました。		

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	鉄道交通対策事業 本庁	継続	地域交通機関に対する啓発活動や利用環境の整備により、利用促進及び利便性の向上を図る

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		方向性の理由	少子高齢化社会を踏まえ、地域鉄道のさらなる発展は必要不可欠であり継続とします。
目標年度			
中長期的な方向性	継続		
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ		施策	
	施策項目			
実施事業名 (小事業)				
事業で得られたノウハウや気づき等				

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
大	事業	151	港湾振興事業	中	事業	01	港湾振興事業		
小	事業							他 事業	

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	2	多様な都市活動を支えるまちづくり	所管部局	総合政策部
	基本計画	2-3	広域ネットワークの形成		企画情報課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	有	坂井市都市計画マスタープラン			

2.事業の目的・概要

**【事業の目的】**  
福井港を広域ネットワークの拠点と位置付け、地域経済の活性化と産業の発展を目指す。

**【事業の概要】**

○負担金 528 千円

- 福井港振興協会負担金 163 千円
- 日本海にぎわい交流海道ネットワーク負担金 30 千円
- 県港湾貨物集荷推進事業（福井港）負担金 275 千円
- 特定地域振興重要港湾活性化協議会負担金 60 千円

○補助金 500 千円

- 福井臨海工業地帯対策協議会補助金

※過去3年間の商船と取扱貨物量

年度	外航船	内航船	商船計	取扱貨物量
28年	64隻	1,336隻	1,400隻	1,477,585トン
29年	61隻	1,267隻	1,328隻	1,576,730トン
30年	73隻	1,337隻	1,410隻	1,705,365トン

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

(単位：千円)

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比	
コスト	事業費	1,028	1,078	1,053	△ 50
	人件費	468	1,401	1,678	△ 933
	総事業費	1,496	2,479	2,731	△ 983
人員	正職員	0.07 人	0.20 人	0.25 人	△ 0.13 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.07 人	0.20 人	0.25 人	△ 0.13 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	750	750	750	0
	一般財源	746	1,729	1,981	△ 983

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	取引貨物量	トン	目標	1,400,000	1,400,000	1,400,000	1,400,000	1,400,000
			実績		1,705,365	1,576,730	1,477,585	1,555,983
			達成率(%)	0.0	121.8	112.6	105.5	111.1
指標の説明		経済効果を図る評価指標						
指標	入隻数	隻	目標	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300
			実績		1,410	1,328	1,400	1,474
			達成率(%)	0.0	108.5	102.2	107.7	113.4
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	年々寄港船の減少とともに、貨物量も減ってきているが、最低目標額は超えており一定の活動成果があると評価します。							

5.事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題 年々貨物量は微増しているが、さらなる活性化のための周知活動が必要です。
これまでの見直しや改善等の実績	国への要望活動に管理職が同行するなど活動強化を行いました。

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容（小事業）	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性	継続	方向性の理由	福井港を広域ネットワークの拠点と位置づけ、事業を継続します。
目標年度			
中長期的な方向性			
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	実施事業名（小事業）	施策
	施策項目		
事業で得られたノウハウや気づき等			

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	08	情報管理費
大事業	051	情報管理事業			中事業	01	庁内情報管理事業		
小事業							他 事業		

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	2	多様な都市活動を支えるまちづくり	所管部局	総合政策部
	基本計画	2-4	情報ネットワーク社会の構築		企画情報課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	有	坂井市情報化計画			

2.事業の目的・概要

【事業の目的】	
坂井市情報セキュリティポリシーで定義する情報資産に関するセキュリティレベルの向上を図りつつ、業務の効率化、部署間での情報の共有化を行い、経費の削減と住民に対する行政サービスの機密性、完全性及び可用性を維持する。	
【事業の概要】	
○ 需用費（消耗品費）	1,468 千円
・ 事務用OA機器消耗品費	
○ 需用費（修繕料）	571 千円
・ 電算機器修繕料	
○ 役務費（通信運搬費）	8,413 千円
・ 専用回線使用料	
○ 役務費（火災保険料）	6 千円
・ 火災保険料	
○ 委託料	43,518 千円
・ 電算機器保守点検委託料	18,744 千円（他5件）
○ 使用料及び賃借料	49,754 千円
・ 電算システムリース料	17,575 千円（他3件）
○ 備品購入費	64 千円
・ 電算機器備品購入費	
○ 負担金	1,417 千円
・ 県情報セキュリティクラウド事業負担金	

3.事業のコスト

（単位：千円）

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コスト	事業費	105,211	100,934	223,440	4,277
	人件費	9,025	7,357	6,042	1,667
	総事業費	114,236	108,291	229,482	5,944
人員	正職員	1.35 人	1.05 人	0.90 人	0.30 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	1.35 人	1.05 人	0.90 人	0.30 人
財源内訳	国県支出金	0	0	11,835	0
	その他特定財源	2,088	2,084	3,240	4
	一般財源	112,148	106,207	214,407	5,940

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	ネットワーク障害事故件数	回	目標	0	0	0	0	0
			実績		1	0	0	0
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
情報ネットワーク環境及び電算機器等の障害								
指標	個人情報漏えい事故	回	目標	0	0	0	0	0
			実績		0	0	0	0
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
ウイルスメール等の攻撃による個人情報の流出								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標に基づく評価	年々、情報ネットワーク環境等が複雑化することに伴い、導入システム及び電算機器等が増加しております。今年度、システム更新作業において通信障害が発生しました。今後、障害事故及び個人情報流出事故が発生しないように取り組んでいきます。							

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題		
これまでの見直しや改善等の実績	<p>情報ネットワーク環境については日々進化し複雑化していくため、担当職員の専門的な知識が必要となるほか、最新技術・セキュリティ対策に関する情報を常に取得及び把握する必要があります。その他、新法の施行や法改正等により、業務システムの新規構築や現行システムの改修等で電算機器等が増加していくため、保守に係る業務の増加が職員の負担となっています。</p> <p>民間企業に業務委託することで業務SEの派遣を受け入れ、専門的な作業の補助や電算機器の初期設定作業を行っていただくことにしました。その他、最新技術・セキュリティ対策に関する情報技術的な助言をもらうことで、担当職員の知識向上を図りました。ネットワークのシステム更新作業において通信障害が発生したことから、仮想ネットワークの使用を避け、物理通信機器による環境構築によりネットワークの強化を図りました。</p>		

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		方向性の理由	坂井市が所有する情報資産の機密性、完全性及び可用性を維持します。 なお、令和2年度竣工予定の本庁舎増築工事に向けて情報資産の機密性、完全性及び可用性を維持しながら、増築計画に併せたネットワーク環境の構築を進めます。
目標年度			
中長期的な方向性	改善（見直し）		
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ		施策	
	施策項目			
実施事業名 (小事業)				
事業で得られたノウハウや気づき等				

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	08	情報管理費
大	事業	051	情報管理事業	中	事業	06	地域情報化推進事業		
小	事業								他 事業

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合 計画	基本構想	2	多様な都市活動を支えるまちづくり	所管 部局	総合政策部
	基本計画	2-4	情報ネットワーク社会の構築		企画情報課
総合 戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	有	坂井市情報化計画			

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コ ス ト	事業費	3,284	3,459	3,841	△ 175
	人件費	2,006	4,414	2,819	△ 2,409
	総事業費	5,290	7,873	6,660	△ 2,584
人 員	正職員	0.30 人	0.63 人	0.42 人	△ 0.33 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.30 人	0.63 人	0.42 人	△ 0.33 人
財 源 内 訳	国県支出金	0	0	184	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	5,290	7,873	6,476	△ 2,584

2.事業の目的・概要

【事業の目的】	
広域で運営される情報通信技術を活用することで、市民の利便性の向上を図るとともに、行政運営の簡素化及び効率化を図る。	
【事業の概要】	
○ 委託料	605 千円
・ IT業務委託料	
○ 備品購入費	79 千円
・ 電算機器備品購入費	
○ 負担金	570 千円
・ 福井県電子申請サービス事業負担金	
○ 交付金	2,030 千円
・ マイナンバー中間サーバー設置等事務交付金	

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指 標	電子申請数	件	目標	600	600	600	500	300
			実績		1,077	1,043	888	839
			達成率(%)	0.0	179.5	173.8	177.6	279.7
指標の説明								
指 標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指 標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指 標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	運用上、電子申請が可能な手続きは限定されていますが、実績的には増加傾向となっています。窓口業務を円滑に行う手段の一つとして研究に取り組んでいきます。							

5.事業に対する評価

	効率性に課題	有効性に課題	
現状と課題	地域SNSは、活発な利用とはなっていませんが利用者同士のコミュニケーションツールとして利用されていますが、利用している登録者数は横ばいの状況ですので、今後の対応の研究に取り組んでいきます。また、マイナンバーを利用した情報の連携を他自治体と行うことで市民の利便性は向上すると思われませんが、情報漏えい等に対する対策を強化する必要があります。		
これまでの見直しや改善等の実績	地域SNSについて、市ホームページ情報及び防災情報との連携機能整備を整備し、地域情報の充実によるSNS利用者の利便性向上を図りました。 電子申請について、福井県が運営する電子申請部会において申請システムの利活用方法や機能改修について検討し、サービス利用者の利便性向上を図りました。		

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		方向性の理由	マイナンバーについて、今後さらに拡大していく情報連携に関連した取り組みに対し、国の方針に基づき適切な運用を行っていきます。また電子申請について、今後も手続等のオンライン化を推進し、市民の利便性向上および行政運営の効率化を図ります。
目標年度			
中長期的な方向性			
目標年度	継続		

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策	
	施策項目				
実施事業名 (小事業)					
事業で得られたノウハウや気づき等					



平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	08	情報管理費
大	事業	101	広域圏事業	中	事業	01	広域圏事務事業		
小	事業							他 事業	

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	1	住民とともに育むまちづくり	所管部局	総合政策部
	基本計画	1-2	効率的な行財政運営の推進		企画情報課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	有	坂井市情報化計画			

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コスト	事業費	191,038	223,767	198,351	△ 32,729
	人件費	3,008	3,854	3,625	△ 846
	総事業費	194,046	227,621	201,976	△ 33,575
人員	正職員	0.45 人	0.55 人	0.54 人	△ 0.10 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.45 人	0.55 人	0.54 人	△ 0.10 人
財源内訳	国県支出金	694	5,778	565	△ 5,084
	その他特定財源		14,078	0	△ 14,078
	一般財源	193,352	207,765	201,411	△ 14,413

2.事業の目的・概要

**【事業の目的】**  
 福井坂井地区広域市町村圏事務組合で基幹系システムを共同利用することにより、法改正等への迅速な対応と経費の圧縮を図り、行政サービスの向上と事務の効率化を図る。

**【事業の概要】**

- 負担金 191,038 千円
  - ・ 広域市町村圏事務費負担金 27,259 千円
  - ・ 広域市町村圏電算負担金 163,779 千円

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	共同利用システム数	システム	目標	25	25	25	25	25
			実績		25	25	25	25
			達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価								

分野	業務名	分野	業務名	分野	業務名
住民記録	住民記録(外国人管理含む)	市税	個人住民税	福祉	児童手当(子ども手当)
	印鑑登録		福祉総合(老人福祉)		
	選挙登録		健康管理		
	法人記録・住登外		子ども子育て支援		
その他	学校教育		軽自動車税		児童扶養手当
	農地基本台帳		国民健康保険税		障害者自立支援
	国民年金		収納管理(口座)		国民健康保険(資格・給付)
	交通災害共済		滞納管理		後期高齢者医療

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
	平成27年7月22日に新たに締結しました負担金に関する「確認書」に沿って算出される負担金額で、坂井市、あわら市及び永平寺町の2市1町で共同利用をしています。		
これまでの見直しや改善等の実績	基幹系システム導入当時に締結した負担金に関する「確認書」は一時導入経費などの事前準備費用を考慮した負担割合でデータ保有量に基づくものでありましたが、平成27年7月22日に新たに締結しました負担金に関する「確認書」では、利用するであろう職員数により負担割合を決定しています。		

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		方向性の理由	共同利用によるメリットである改修費用の抑制が図れるため、現状のシステム利用形態を継続します。
目標年度			
中長期的な方向性	継続		
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ		施策	
	施策項目			
実施事業名 (小事業)				
事業で得られたノウハウや気づき等				

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	02	総務費	項	05	統計調査費	目	01	統計調査総務費
大	事業	051	統計管理事業	中	事業	01	統計管理事業		
小	事業							他 事業	

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	1	住民とともに育むまちづくり	所管部局	総合政策部
	基本計画	1-2	効率的な行財政運営の推進		企画情報課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		坂井市補助金等交付規則、統計調査員確保対策事業委託要綱ほか		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】	
市民に対して統計調査業務の重要性、必要性などの啓発活動を実施する。 また、正確で迅速な統計調査を確立するため活動している市統計協会の運営と活動を支援する。	
【事業の概要】	
○需用費	221 千円
消耗品費（事務用消耗品）	34 千円
印刷製本費（資料印刷費）	187 千円
○補助金	200 千円
坂井市統計協会運営補助金	

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コスト	事業費	421	423	425	△ 2
	人件費	3,343	2,523	3,222	820
	総事業費	3,764	2,946	3,647	818
人員	正職員	0.50 人	0.36 人	0.48 人	0.14 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.50 人	0.36 人	0.48 人	0.14 人
財源内訳	国県支出金	34	35	36	△ 1
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	3,730	2,911	3,611	819

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	独自指標	統計調査員確保対策事業の登録基準数	目標	180	180	180	180	180
			実績		81	84	79	74
			達成率(%)	0.0	45.0	46.7	43.9	41.1
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	指標値については、「経済センサス-基礎調査」の調査区数の2分の1							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績			

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	統計管理事業	継続	統計事業は、法定受託事務であるため継続します。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		方向性の理由
目標年度		
中長期的な方向性	継続	
目標年度		

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ		施策	
	施策項目			
実施事業名 (小事業)				
事業で得られたノウハウや気づき等				

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	02	総務費	項	05	統計調査費	目	02	統計調査費
大事業	051	統計調査事業			中事業	11	住宅土地統計調査事業		
小事業							他 事業		

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	1	住民とともに育むまちづくり	所管部局	総合政策部
	基本計画	1-2	効率的な行財政運営の推進		企画情報課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	法定受託事務		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	統計法、住宅・土地統計調査規則			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

**【事業の目的】**  
我が国における住宅などの人が居住する建物に関する実態並びに現住居以外の住宅及び土地の保有状況、その他の住宅等に居住している世帯に関する実態を調査し、その現状と推移を全国及び地域別に明らかにすることで、住生活関連諸政策の基礎資料とする。(5年ごとに実施される。)

**【事業の概要】**

○報酬	調査員報酬	4,312 千円
○職員手当等	時間外勤務手当	214 千円
○需用費		19 千円
	消耗品費(事務用消耗品)	15 千円
	食糧費(説明会賄)	4 千円
○役務費	郵便料	30 千円
○委託料		67 千円
	コピー機保守点検委託料	19 千円
	調査員業務委託料	48 千円
○使用料	コピー機リース料	11 千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

(単位：千円)

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コスト	事業費	4,653	489	4,164
	人件費	2,875	3,223	△ 349
	総事業費	7,528	3,712	3,815
人員	正職員	0.43 人	0.46 人	△ 0.03 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.43 人	0.46 人	△ 0.03 人
財源内訳	国県支出金	4,653	488	4,165
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	2,875	3,224	△ 350

4. 事業の成果

評価指標	単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標		目標					
		実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明							
指標		目標					
		実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明							
指標		目標					
		実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明							
指標		目標					
		実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明							
指標に基づく評価	統計法に基づく法定受託事務のため目標・実績とする指標はありません。						

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績			

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	住宅土地統計調査事業	継続	統計事業は、法定受託事務であるため継続します。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		方向性の理由	法定受託事務のため、評価しないこととします。
目標年度			
中長期的な方向性			
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ		施策	
	施策項目			
実施事業名 (小事業)				
事業で得られたノウハウや気づき等				

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	02	総務費	項	05	統計調査費	目	02	統計調査費
大	事業	051	統計調査事業	中	事業	31	工業統計調査事業		
小	事業							他 事業	

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合 計画	基本構想	1	住民とともに育むまちづくり	所管 部局	総合政策部
	基本計画	1-2	効率的な行財政運営の推進		企画情報課
総合 戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	法定受託事務		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	統計法、工業統計調査規則			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コ ス ト	事業費	965	921	3	44
	人件費	1,404	1,401	1,137	2
	総事業費	2,369	2,322	1,140	46
人 員	正職員	0.21 人	0.20 人	0.16 人	0.01 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.21 人	0.20 人	0.16 人	0.01 人
財 源 内 訳	国県支出金	963	8	3	955
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	1,406	2,314	1,137	△ 909

2.事業の目的・概要

【事業の目的】	
我が国の工業の実態を明らかにし、経済白書、中小企業白書などの経済分析及び各種の経済指標へデータを提供することを目的とし、その調査結果は、国や都道府県などの産業政策のための基礎資料とする。	
【事業の概要】	
○報酬	調査員報酬 899 千円
○職員手当等	時間外勤務手当 9 千円
○需用費	17 千円
	消耗品費（事務用消耗品） 15 千円
	食糧費（説明会賄） 2 千円
○役務費	郵便料 15 千円
○委託料	コピー機保守点検委託料 11 千円
○使用料	コピー機リース料 14 千円

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	目標	実績						
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	指標の説明							
指標	目標	実績						
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	指標の説明							
指標	目標	実績						
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	指標の説明							
指標	目標	実績						
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	指標の説明							
指標に基づく評価	統計法に基づく法定受託事務のため目標・実績とする指標はありません。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績			

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	工業統計調査事業	継続	統計事業は、法定受託事務であるため継続します。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		方向性の理由	法定受託事務のため、評価しないこととします。
目標年度			
中長期的な方向性			
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ		施策	
	施策項目			
実施事業名 (小事業)				
事業で得られたノウハウや気づき等				



平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	02	総務費	項	05	統計調査費	目	02	統計調査費
大事業	051	統計調査事業			中事業	41	学校基本調査事業		
小事業							他 事業		

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	1	住民とともに育むまちづくり	所管部局	総合政策部
	基本計画	1-2	効率的な行財政運営の推進		企画情報課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	法定受託事務		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	統計法、学校基本調査規則第2条			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

<p>【事業の目的】</p> <p>学校数、学級数（小中高など）、学部数（高等教育機関）、在学者数、長期欠席者数、教職員数、学校敷地の面積、学校建物の面積、学校経費、卒業生の進路状況など、教育行政の資料を得ることを目的とする。</p>
<p>【事業の概要】</p> <p>○需用費 消耗品費（事務用消耗品） 30 千円</p>

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	
----------	--

3.事業のコスト

(単位：千円)

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比	
コスト	事業費	30	30	33	0
	人件費	0	490	671	△ 490
	総事業費	30	520	704	△ 490
人員	正職員	人	0.07 人	0.10 人	△ 0.07 人
	臨時職員	人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.00 人	0.07 人	0.10 人	△ 0.07 人
財源内訳	国県支出金	30	30	31	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	0	490	673	△ 490

4. 事業の成果

評価指標	単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標		目標					
		実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明							
指標		目標					
		実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明							
指標		目標					
		実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明							
指標		目標					
		実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明							
指標に基づく評価	統計法に基づく法定受託事務のため目標・実績とする指標はありません。						

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績			

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	学校基本調査事業	継続	統計事業は、法定受託事務であるため継続します。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		方向性の理由	法定受託事務のため、評価しないこととします。
目標年度			
中長期的な方向性			
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ		施策	
	施策項目			
実施事業名 (小事業)				
事業で得られたノウハウや気づき等				

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	02	総務費	項	05	統計調査費	目	02	統計調査費
大事業	051	統計調査事業			中事業	56	経済センサス活動調査事業		
小事業							他 事業		

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	1	住民とともに育むまちづくり	所管 部局	総合政策部
	基本計画	1-2	効率的な行財政運営の推進		企画情報課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	法定受託事務		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	統計法、経済センサス活動調査規則			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】 我が国の全産業分野における事業所及び企業の経済活動の実態を全国及び地域別に明らかにするとともに、事業所及び企業を調査対象とする各種統計調査の精度向上に資する母集団情報を得ることを目的とする。（5年ごとに実施される。）
【事業の概要】  ○需用費 消耗品費（事務用消耗品） 1千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

(単位：千円)

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比	
コスト	事業費	1	16	3,335	△ 15
	人件費	802	981	3,894	△ 179
	総事業費	803	997	7,229	△ 194
人員	正職員	0.12 人	0.14 人	0.58 人	△ 0.02 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.12 人	0.14 人	0.58 人	△ 0.02 人
財源内訳	国県支出金	1	15	3,335	△ 14
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	802	982	3,894	△ 180

4. 事業の成果

評価指標	単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標		目標					
		実績					
	達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明							
指標		目標					
		実績					
	達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明							
指標		目標					
		実績					
	達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明							
指標		目標					
		実績					
	達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明							
指標に基づく評価	統計法に基づく法定受託事務のため目標・実績とする指標はありません。						

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績			

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	経済センサス活動調査事業	継続	統計事業は、法定受託事務であるため継続します。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		方向性の理由	法定受託事務のため、評価しないこととします。
目標年度			
中長期的な方向性			
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ		施策	
	施策項目			
実施事業名 (小事業)				
事業で得られたノウハウや気づき等				

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	02	総務費	項	05	統計調査費	目	02	統計調査費
大	事業	051	統計調査事業	中	事業	61	漁業センサス		
小	事業								他 事業

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	1	住民とともに育むまちづくり	所管部局	総合政策部
	基本計画	1-2	効率的な行財政運営の推進		企画情報課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	法定受託事務		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	統計法、漁業センサス調査規則			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

<p><b>【事業の目的】</b> 我が国の漁業の生産構造や就業構造の実態を明らかにするとともに、漁村、水産物流・加工業などの漁業をとりまく実態と変化を総合的に把握し、水産行政の推進に活用することを目的とする。（5年ごとに実施される。）</p>		
<p><b>【事業の概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○報酬 調査員報酬 306 千円</li> <li>○需用費 消耗品費（事務用消耗品） 5 千円</li> <li>○役務費 郵便料 28 千円</li> <li>○委託料 コピー機保守点検委託料 1 千円</li> <li>○使用料 コピー機リース料 11 千円</li> </ul>		

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	
----------	--

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コスト	事業費	351			351
	人件費	1,471			1,471
	総事業費	1,822	0	0	1,822
人員	正職員	0.22 人			0.22 人
	臨時職員	0.00 人			0.00 人
	人員計	0.22 人	0.00 人	0.00 人	0.22 人
財源内訳	国県支出金	351			351
	その他特定財源				0
	一般財源	1,471	0	0	1,471

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	目標		目標					
			実績					
	達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
指標の説明								
指標	目標		目標					
			実績					
	達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
指標の説明								
指標	目標		目標					
			実績					
	達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
指標の説明								
指標	目標		目標					
			実績					
	達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
指標の説明								
指標に基づく評価	統計法に基づく法定受託事務のため目標・実績とする指標はありません。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績			

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	漁業センサス	継続	統計事業は、法定受託事務であるため継続します。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		方向性の理由	法定受託事務のため、評価しないこととします。
目標年度			
中長期的な方向性			
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ		施策	
	施策項目			
実施事業名 (小事業)				
事業で得られたノウハウや気づき等				

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	13	諸支出金	項	02	基金費	目	12	寄附市民参画基金費
大	事業	051	寄附市民参画基金	中	事業	01	寄附市民参画基金		
小	事業							他	事業

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	1	住民とともに育むまちづくり	所管部局	総合政策部
	基本計画	1-1	住民と行政の協働によるまちづくりの推進		企画情報課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務 (任意的なもの)		事業種別	内部管理事業	
根拠法令	有	地方税法等の一部を改正する法律、所得税法、法人税法			
根拠例規	有	坂井市寄附による市民参画条例			
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】  
坂井市寄附市民参画条例により、市民等が提案した事業の中から、寄附者が指定した事業の財源に寄附金を充てるため、寄附市民参画基金を設置して広く寄附を募る。

【事業の概要】  
○積立金 555,685 千円

寄附市民参画基金の状況 (年度末) (単位：千円)

平成29年度末 現在高 ①	平成30年度中増減額		平成30年度末 現在高①-②+③
	取崩額 ②	積立額 ③	
324,158	344,961	555,685	534,882

(参考) 各政策メニューごとの平成30年度末基金残高

政策メニュー名	基金残高
協働	77,370 千円
教育	100,451 千円
環境	74,408 千円
文化	103,933 千円
三国	43,236 千円
丸岡	593 千円
春江	38,494 千円
坂井	681 千円
市長	95,716 千円
合計	534,882 千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト (単位：千円)

	平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比	
コスト	事業費	555,685	450,851	7,414	104,834
	人件費	3,810	2,943	7,049	868
	総事業費	559,495	453,794	14,463	105,702
人員	正職員	0.57 人	0.42 人	1.05 人	0.15 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.57 人	0.42 人	1.05 人	0.15 人
財源内訳	国県支出金	925	626	2,583	299
	その他特定財源	554,760	450,225	4,884	104,535
	一般財源	3,810	2,943	6,996	868

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	寄附市民参画制度による事業化数	件	目標	5	3	3	2	2
			実績		5	2	2	2
			達成率(%)	0.0	166.7	66.7	100.0	100.0
独自指標	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
独自指標	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
独自指標	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
独自指標	指標の説明							
指標に基づく評価	返礼品導入により、地域の経済効果へも大きな影響を及ぼし、寄附市民参画制度の充実に手応えを得ることができた。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績			

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	寄附市民参画基金	拡充	基金額を増額するために寄附金を募る方法を拡大させると同時に基金を着実に事業化する体制を構築する。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		方向性の理由	基金管理事業のため評価しないこととします。
目標年度			
中長期的な方向性			
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
	施策項目					
実施事業名 (小事業)						
事業で得られたノウハウや気づき等						